

岡山市における防災に関する取り組み状況

平成28年1月15日(金)
岡山市危機管理室

1

緊急消防援助隊の概要

※消防庁資料より引用

目的

- 地震等の大規模・特殊災害発生時における人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施する消防の援助体制を国として確保。

創設の経緯等

- 阪神・淡路大震災での教訓を踏まえ、平成7年に創設。
- 平成15年6月消防組織法の改正により法制化、平成16年4月から法律上明確化のうえ発足。
- 平成20年5月消防組織法の改正により機動力を強化

概要

- 総務大臣が、編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画を策定。計画に基づいて消防庁長官が部隊を登録。
- 大規模・特殊災害発生時には、消防庁長官の指示又は求めにより部隊が出動。
- 平成27年4月現在、下記の13小隊等で編成され、4,984隊が登録。

【部隊概要】（注：平成27年4月現在、重複を含むため合計は一致しない。）

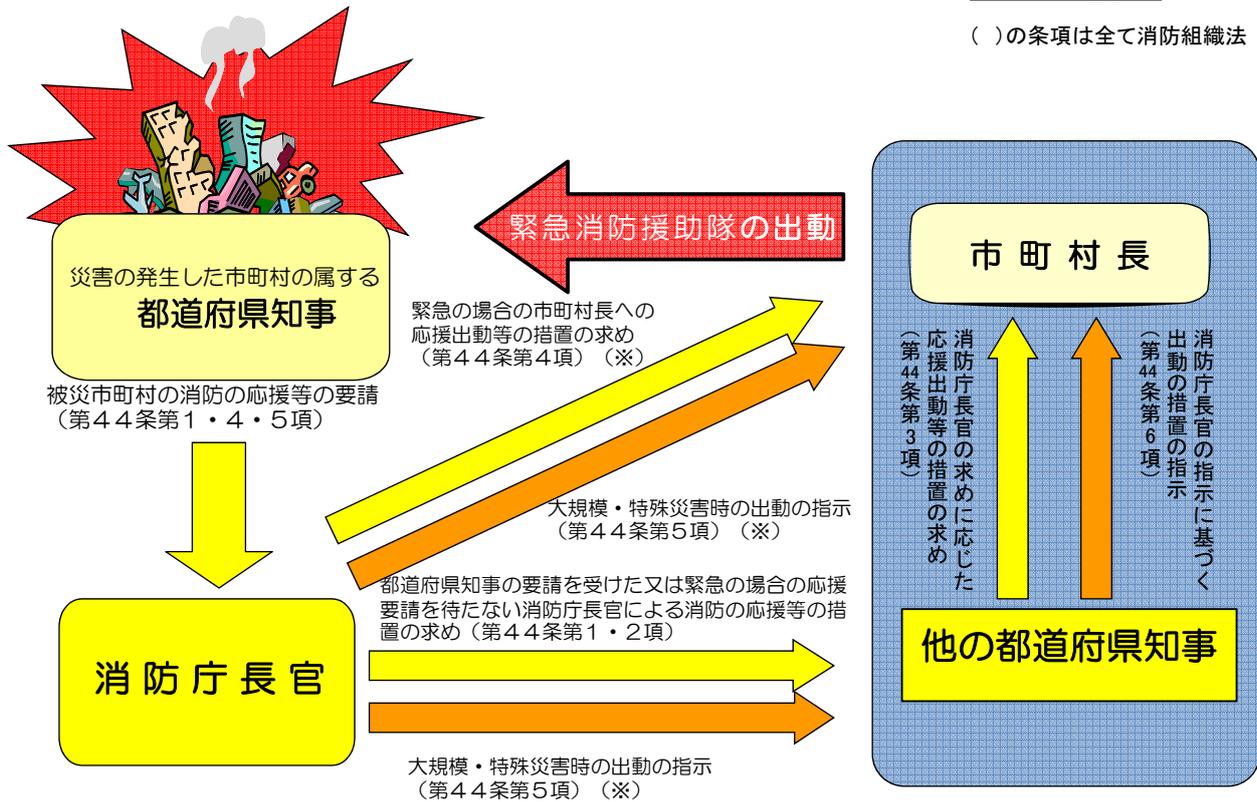
指揮支援隊	48隊	救助小隊	441隊	水上小隊	19隊
統合機動部隊指揮隊	15隊	救急小隊	1,147隊	特殊災害小隊	278隊
エネルギー産業基盤災害即応部隊	2隊	後方支援小隊	792隊	特殊装備小隊	396隊
都道府県大隊指揮隊	117隊	通信支援小隊	23隊		
消火小隊	1,755隊	航空小隊	76隊		

2

緊急消防援助隊の出動スキーム

※消防庁資料より引用

()の条項は全て消防組織法



(※)都道府県知事の要請を受けた場合(第44条第1項)と、緊急の場合で都道府県知事の要請を待つかとまがない場合(第44条第2項)がある。

3

「緊急消防援助隊基本計画」の改定について(H26-H30の第3期計画)

※消防庁資料より引用

平成26年2月 消防庁

東日本大震災の教訓を活かし、南海トラフ地震等への対応力を強化するため、
緊急消防援助隊の登録目標数(H30)を6000隊に大幅増隊。

緊急消防援助隊基本計画について

- 総務大臣が、緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画(「基本計画」)を策定(消防組織法 § 45、財務大臣協議)。計画に基づいて消防庁長官が部隊を登録。
- これまでの基本計画の推移
 - ・第1期計画(H16-20) 目標 3000隊
 - ・第2期計画(H21-25) 目標 4500隊
- 平成26年1月現在、4600隊が登録

第3期計画のポイント

- 南海トラフ地震等に備え、大規模かつ迅速な消火・救助・救急体制を確立する必要。
- 大規模火災、倒壊家屋からの救助、広域医療搬送を行うため、消火、救助、救急の主要3部隊を増強
主要3部隊 4230隊(+1100隊) (内訳 (消火+800隊) (救助+50隊) (救急+250隊))
- 大規模地震時等の石油コンビナート災害等への対応力を充実強化する必要。
- 特殊災害対策に特化した、精鋭部隊として「ドラゴンハイパー・コマンドユニット(エネルギー・産業基盤災害即応部隊)」を新設。(H30までに全国に12部隊配備)
- 迅速に被災地に先遣出動させるため「統合機動部隊」を全国に50隊新設。(指揮隊、消火隊、救助隊、救急隊、後方支援隊等の隊員約50名で構成)
- 長期活動をバックアップする後方支援体制を強化することとし、拠点機能形成車両等の配備等により、全国で後方支援隊(5名)を160隊増隊。(増隊後790隊)
- 自衛隊、警察等の連携も含めた、通信体制を強化するため、全国に50隊の「通信支援隊」(5名)を新設。

4

岡山市消防局の出動実績

緊急消防援助隊 創設以前

◎阪神・淡路大震災:平成7年1月17日

派遣期間:61日間

延べ170隊640名を派遣

緊急消防援助隊 創設以後

1 兵庫県豊岡市水害(台風23号):平成16年10月21日

派遣期間:2日間

延べ16隊60名を派遣

2 JR福知山線列車事故:平成17年4月25日

派遣期間:1日

1隊5名を派遣(航空隊のみ)

3 東日本大震災:平成23年3月11日

派遣期間:42日間

延べ181隊695名を派遣

4 広島市土砂災害:平成26年8月20日

派遣期間:17日間

延べ182隊639名を派遣

5

緊急消防援助隊の出動事例

◆平成7年6月緊急消防援助隊創設

※消防庁資料より引用

- 1 蒲原沢土石流災害(平成8年12月6日)
- 2 岩手県内陸北部を震源とする地震(平成10年9月3日)震度6弱
- 3 有珠山噴火災害(平成12年3月31日)
- 4 平成12年(2000年)鳥取県西部地震(平成12年10月6日)震度6強
- 5 平成13年(2001年)芸予地震(平成13年3月24日)震度6弱
- 6 宮城県北部を震源とする地震(平成15年7月26日)震度6強、6弱
- 7 三重県ごみ固形燃料発電所火災(平成15年8月14日)
- 8 栃木県黒磯市ブリヂストン栃木工場火災(平成15年9月8日)
- 9 平成15年(2003年)十勝沖地震(平成15年9月26日)震度6弱
- 10 出光興産北海道製油所原油貯蔵タンク火災(平成15年9月28日)
- 11 平成16年7月新潟・福島豪雨(平成16年7月13日)
- 12 平成16年7月福井豪雨(平成16年7月18日)
- 13 平成16年台風第23号兵庫県豊岡市水害(平成16年10月21日)
⇒岡山市消防局出動・・・2日間 述べ16隊60名を派遣
- 14 平成16年(2004年)新潟県中越地震(平成16年10月23日)震度7
- 15 福岡県西方沖を震源とする地震(平成17年3月20日)震度6弱
- 16 平成17年JR西日本福知山線列車事故(平成17年4月25日)
⇒岡山市消防局出動・・・1日 1隊5名を派遣(航空隊のみ)
- 17 奈良県吉野郡上北山村土砂崩れ車両埋没事故(平成19年1月30日)
- 18 平成19年(2007年)能登半島地震(平成19年3月25日)震度6強
- 19 三重県中部を震源とする地震(平成19年4月15日)震度5強
- 20 平成19年(2007年)新潟県中越沖地震(平成19年7月16日)震度6強
- 21 平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震(平成20年6月14日)震度6強
- 22 岩手県沿岸北部を震源とする地震(平成20年7月24日)震度6弱
- 23 駿河湾を震源とする地震(平成21年8月11日)震度6弱
- 24 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(平成23年3月11日)震度7
⇒岡山市消防局出動・・・42日間 述べ181隊695名を派遣
- 25 平成25年台風第26号による伊豆大島における土砂災害(平成25年10月16日)
- 26 平成26年8月豪雨による広島市土砂災害(平成26年8月20日)
⇒岡山市消防局出動・・・17日間 述べ182隊639名を派遣
- 27 御嶽山噴火災害(平成26年9月27日)
- 28 長野県北部を震源とする地震(平成26年11月23日)
- 29 鹿児島県口永良部島噴火(平成27年5月29日)

6

広島市土砂災害における消防機関の活動について

広島市安佐南区、安佐北区において166箇所で土砂災害が発生

被害状況

※消防庁被害報第46報(平成27年12月16日17時30分現在)より引用

- 人的被害：死者76名
- 物的被害：全壊179棟、半壊217棟、一部破損190棟、床上浸水1,086棟、床下浸水3,097棟

消防機関の活動状況

- 広島市消防局・消防団をはじめ、県内応援消防本部・消防団、緊急消防援助隊が関係機関(警察、自衛隊、TEC-FORCE等)と一体となって、多数の倒壊家屋や土砂からの救助活動を実施。
- 8月20日から9月18日までに133名の救助活動を実施。

	合計	活動規模				
		広島市消防局	広島市内消防団	広島県内応援消防団	広島県内応援消防本部	緊急消防援助隊
活動延べ人数	18,700名	10,091名	4,463名	41名	1,471名	2,634名

岡山市消防局の活動

- ◆ 派遣日時
平成26年8月20日(水)14時40分～9月5日(金)13時30分
- ◆ 派遣部隊
緊急消防援助隊岡山県隊として、岡山市消防局から指揮隊、救助隊、後方支援隊等の13隊59名を派遣 ※17日間 延べ182隊639名を派遣
- ◆ 活動内容
警察、自衛隊等の関係機関と連携し、人命検索・救助、安否確認並びに重機による道路啓開及び土砂の除去等を実施。また、水陸両用バギーを活用し、警戒活動や資機材搬送等を実施。

7

広島市土砂災害における岡山市消防局の活動について



現場指揮所でのミーティング



水陸両用バギーによる警戒活動



救助活動を行う緊急消防援助隊



重機による道路啓開活動

8

平成26年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練について

緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練は、大規模災害活動時における緊急消防援助隊の技術及び連携活動能力の向上を目的に、平成8年度から全国を6ブロックに区分して毎年実施している。平成26年度の中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練については、岡山市において開催された。

- 1 実施日
平成26年11月1日(土)～2日(日)
- 2 実施場所
岡山市、瀬戸内市
- 3 実施内容
 - ◆訓練想定
平成26年11月1日(土)9:00頃、岡山市東区を震源とするM7.0の直下型地震が発生。
 - ◆消防応援活動調整本部等設置運営訓練
 - ◆部隊参集訓練
 - ◆情報通信訓練
 - ◆後方支援活動訓練



訓練の様子



訓練の様子



部隊運用訓練全景(岡山市消防教育訓練センター)



訓練の様子

津波・浸水域訓練施設について

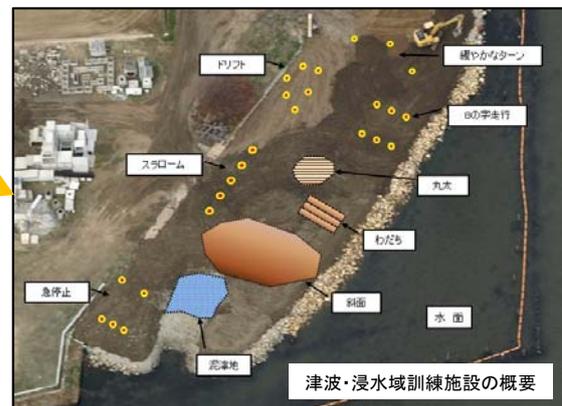
本訓練施設は、平成26年8月の広島市土砂災害の際に、緊急消防援助隊として出動し、実効性が認識された水陸両用バギー(以下、「バギー」という。)について、さらなる訓練の必要性から整備され、平成27年12月21日(月)に運用を開始したものです。この施設には、バギーの操縦を訓練するために必要となるターン、8の字走行等のパイロンを活用したコース、泥濘地、こぶや丸太といった悪路走行のためのコース、水面を利用したコースを整備しています。



岡山市消防教育訓練センター



走行訓練の様子



津波・浸水域訓練施設の概要

- ◆水陸両用バギー
- 全長:3020mm
- 全幅:1525mm
- 全高:1900mm
- 乗車定員:陸上6名、水上4名
- 最高速度:陸上32km/h
- 水上4km/h
- 登坂可能斜度:30度

